**平和統一運動次世代リーダー育成のための**

**「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門及びエッセイ応募原稿フォーマット**

**■「私から始まる平和統一大賞」とは**

　朝鮮戦争によって分断された朝鮮半島と在日コリアン。先人たちが夢にまで見た「統一」はいつ来るのでしょうか？　最近の国家情勢で考えると問題があまりにも大きく見えて、何から手を付けて良いのか、わからなくなってしまうことはありませんか。しかし、皆さんが「心の壁」を乗り越えた小さな体験が、何かしら在日同胞の和合に役に立った事はなかったでしょうか？

　’為に生きる’神様主義の真の愛を根本精神として国籍と思想、組織を超越して、国内外の韓民族の和合と統一の実現を目指す平和統一聯合は、この度、皆様の「心の壁」を乗り越えた経験を、同世代や後に続いていく世代の力とするために、創設20周年記念企画としてこの賞を創設いたしました。

|  |  |
| --- | --- |
| 名称 | 「私から始まる平和統一大賞」青年スピーチ部門、会員及び一般部門　エッセイ募集 |
| 募集テーマ | 「私の心の壁を越えて始まった平和統一の経験」・自分の置かれている環境でぶつかった「心の壁」、なぜそれが「壁」であったか、どのようにして乗り越えたか、そのきっかけや周りからの言葉、勉強になったと思う自分の経験、そしてそれが在日同胞の和合、朝鮮半島の平和統一にどのように発展していく可能性があるかをスピーチ、または記述。 |
| 応募条件 | 平和統一聯合に所属している会員、担当者。または左記から紹介を受けた方。 |
| 募集期間 | 青年スピーチ部門：2024年６月16日（日）まで地方予選会員及び一般部門　エッセイ募集：2024年４月１日（月）～2024年６月17日（月） |
| スピーチ原稿規程 | 【青年スピーチ部門】　５分以上７分以内（制限時間を超過した場合は減点）。※パワーポイント使用可。【会員及び一般部門　エッセイ募集】800字以上3000字以内、１人１点。※両部門とも主となる言語を日本語で行うこと。部分的に韓国・朝鮮語、または他国の言語を使用しても良いが、日本語の意味を付け加えること。 |
| 応募方法 | Wordファイルのまま、応募フォームよりご応募ください。※ 青年スピーチ部門に応募の方も、同様に原稿を提出してください。 郵送、FAXでのご応募はご遠慮いただいております。 |
| 発表 | 2024年6月下旬　ホームページにて公開入賞者には、メールまたはお電話にて直接ご連絡をさしあげます。青年スピーチ部門の大賞受賞者は、７月４日東京都内の記念行事でスピーチします。その交通費は本部負担。 |

**題名：　私の愛する故郷は”絆”全国第1位**

**お名前：　菅原　健一**

(下記より本文をご記入ください)

私の故郷は、宮城県栗原市です。栗原市は宝島社出版の「田舎暮らしの本」が毎年行う「住みたい田舎」ベストランキング2024版発表され、全国「人口５万人以上10万人未満の市」総合部門において全国・東北エリア第１位になりました。長年住んでいると、自然が豊富で、のどかで、親切な人が多いということは納得の範囲ですが、全国１位となると我がふるさとを探求する価値があると思います。

栗原市若柳に、安重根義士の位牌と記念碑を安置している曹洞宗「大林寺」があり、安重根義士の監守、千葉十七居士の菩提寺があります。恩讐同志の民族でありながら、安重根義士の人柄に感動した千葉十七居士は故郷に戻り、処刑直前に安重根義士から受け取った遺墨「為国献身軍人本分」と位牌を大林寺に納めました。

また、日韓関係のトゲとなっている徴用工問題につながる現場として、細倉鉱山があります。当時の労働者は二千人超であり、朝鮮人９６３名の名簿があるそうです。苦労に苦労をされた強制労働者の方々の恨みは、どこかの世代で解放しなければなりません。そう苦慮するなか、細倉鉱山の近くに、韓国から祝福を受けて家庭を持っている韓国人男性がいます。韓日家庭としての日々の暮らしは、平坦ではなく、紆余曲折な家庭生活と聞いています。しかし、強制労働で苦労された韓国人の末柄である方が近くにおられるだけでも、日本人としては大変ありがたく思います。祝福という恩讐関係をも、真の愛で解消される素晴らしさを痛感しています。

最後になりますが、毎年、４月２９日に栗原市一迫で「政岡まつり」が開催されます。伊達６２万石を継ぐことになった、伊達家四代藩主亀千代が２歳の時、幼君亀千代をお家騒動から、我が子を犠牲にしてまでも幼君の伊達綱村公を守った乳母としての政岡の局の功績は、現在の宮城県の、王宮の城としての宮城を守った女性の存在に感謝するものです。

時代背景は異なりますが、それぞれの共通点は、「恩讐を愛せよ」だと思います。韓国人の忠孝の精神を見習わねばならず、命がけで君主を守った母親の愛情があります。

韓半島統一も、恩讐関係を愛することから始まり、日々の生活の中で、全てに「感謝し」「許し」「助け合う心」があれば可能と思慮します。

日本に住んで、日本人の家族・親戚・知人・同僚を許し生活する、友人の韓国人男性と”絆”を重要視、尊敬し、愛し、共に韓半島統一の為、精誠を尽くしていきたいと思います。

ありがとうございました。